

グランシップ伝統芸能シリーズ

人形浄瑠璃文楽 事前レクチャー

山川 静夫 刃 ここがみどころ ききどころ

～文楽人形遣いにせまる～



写真：山口 敬三



入場料：一般1,000円 こども・学生500円

※事前申込制、未就学児入場不可

申込
方法

電話、またはグランシップホームページ専用申込フォームからお申込み下さい。
グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (営業時間10:00～18:30)
<http://www.granship.or.jp/>

グランシップ

検索

2017年8月29日(火) 14:00開演(13:30開場) グランシップ 6階交流ホール (JR東静岡駅南口隣接)

山川静夫のここがみどころ・ききどころ

ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る伝統芸能「人形浄瑠璃 文楽」。グランシップでは、2005年より毎年上演し、2010年からは「グランシップ伝統芸能シリーズ」と銘打って、県内での貴重な上演機会として多くの方にお楽しみいただいています。

文楽は、太夫、三味線、人形遣いの三役が揃ってはじめて成立する総合舞台芸術。今回は、文楽にまだ触れたことのない方、より深く公演を鑑賞してみたいという方のために、伝統芸能に造詣が深く、楽しいおしゃべりが人気の、静岡市出身・元NHKアナウンサーの山川静夫さんが、分かりやすくお話しします。また、今もとても人気の人形遣い・吉田一輔さんをお招きし、普段見られない人形遣いの技術や人形の仕組みを実演を交えながらご案内します。伝統芸能を支える芸技員の方から、直接お話しを聞く事ができる貴重な機会です。



写真：山口敬三

山川 静夫 | やまかわ しずお

1933年静岡浅間神社の神主の長男として生まれる。56年國學院大學卒業後、NHKに入局。『紅白歌合戦』司会者を9年連続で務め、ユーモアにあふれたしゃれた話しぶりがお茶の間に人気を呼ぶ。また『ウルトラアイ』『邦楽百選』など、科学、邦楽、歌舞伎番組等を担当。幅広い視聴者層の支持を獲得する。大学時代からの歌舞伎愛好家で、文楽通としても知られる。現在はエッセイストとして活躍。著書に『勘三郎の天気』『文楽の男』『文楽の女』『私の出会えた名優たち』『歌右衛門の六十年』『花舞台へ帰ってきた』『大向うの人々』『歌舞伎の愉しみ方』『歌舞伎は恋』など多数。



吉田 一輔 | よしだ いちすけ

1983年、13歳のときに父・桐竹一暢に入門。桐竹一輔と名のる。1985年国立文楽劇場で初舞台。2004年5月三代吉田簗助門下となり、吉田姓を名のる。国立劇場文楽賞文楽奨励賞、咲くやこの花賞、大阪文化祭賞奨励賞ほか受賞。2014年に長男の簗悠が吉田簗助に入門し、初の親子四世代での人形遣いが話題となった。世襲制ではない文楽の世界では珍しい人形遣いの三代目、これからの文楽界を担う逸材である。

事前レクチャーに参加したら、次は舞台を楽しみましょう！

グランシップ伝統芸能シリーズ

「人形浄瑠璃 文楽」

2017年10月7日(土) 昼の部13:30～/夜の部18:00～

グランシップ 中ホール・大地

全席指定/1階席3,600円 こども・学生1,000円 昼夜通し券6,480円 2階席1,000円

昼の部:「桂川連理柵」～六角堂の段～帯屋の段～道行籠の桂川
夜の部:「曾根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段



写真：青木 信二

今年の「グランシップ伝統芸能シリーズ」のテーマ、「伝統芸能にみる“恋”」に関連して、世話物の心中二作を上演します。お半と長右衛門をめぐる周囲の人々、夫婦、親子の情愛や長右衛門の苦悩に胸打たれる「桂川連理柵」と、近松門左衛門の名作、お初と徳兵衛の「曾根崎心中」にご期待ください。

交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接 ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京、名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡まで3分
- ・車では、東名高速道路静岡I.C.から20分、新東名高速道路新静岡I.C.から10分
- ・公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください

■お問合せ グランシップチケットセンター <http://www.granship.or.jp/>
TEL.054-289-9000 (営業時間 10:00～18:30 ※休館日を除く)



〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
ホームページアドレス <http://www.granship.or.jp/>

